

『祈りハチェンジ』～祈りは宅配便～【マタイ 8:5～13, 15:21～28】

私達人間は現実を目の前にするとだいたい3つのパターンに分かれます。①**逃避する人**②**受容する人**③**現状を変化させようとする人**。神様を信じる私達はいつも現状を変化させ続ける③番でありたいものです。あなたは現状を日々変化させていますか？目の前に立ちだかる現状を私達はどのように変化させて行けばよいのでしょうか。マタイ8章に登場する百人隊長はしもべの病の癒しをイエス様に願います。そしてイエス様の御言葉を頂ければ癒されますと言いました。イエス様が驚かれた程のすごい信仰で癒しを受け取る事ができました。15章に登場する女性は娘を助けて欲しいと願い出しましたが、イエス様に退けられました。それでも女性は諦めずイエス様に嘆願しました。その信仰を見たイエス様は女性の願いのとおりに娘を癒されました。イエス様が実在されたこの時代は、この2人のように直談判する事ができました。現代では私達の祈りが直談判になります。ですから問題を祈りハチェンジさせて行く事が現状を変化させていく方法なのです。問題を祈りハチェンジさせていく為に①**マイナスは受け止めない**。受け止めない事が祈りへつながります。ダビデはゴリヤテを倒した時、敵と同じ方法で戦うのではなく、神から与えられて自らの方法で戦い勝利する事ができました。私達もマイナスを受け入れて戦うのではなく、ダビデのように主を前に置いて問題を客観的に見て対処するべきではないでしょうか。そうする為に私達は自分に与えられている御言葉を通して祈る事が大切になってくるわけです。マイナスは自分が作ります。作った私達がそのマイナスを解決できるはずがありません。ですからマイナスを受け入れその中に入ってしまうはいけません。②**祈りの力を知る**。祈り続けると必ず変化が起こります。祈りは信じて願い続けると必ず神にもわかって欲しい相手にも伝わります。③**祈り自分を見る鏡**。祈りを見ると自分の姿がわかります。主は心から出る本当の祈りを求めておられます。私達が失望しない、させない為に祈りがあります。祈った時点であなたの問題は移されるのです。あなたの病を負い、問題を引き受けて下さる。それはイエス様が十字架の上でなされた御業です。祈りが宅配便になり問題を移してくれます。イエス様が問題を神様に宅配して下さいます。そして宅配された問題はプラスの小包になって私達の元に返ってきます。プラスは受け取りマイナスは祈ってしまえば良いのです。もちろん何でも祈っていれば自分は何もなくて良いというわけではありません。責任転嫁の祈りではなく、その問題がなぜ起こったのか？原因を探り、悔改める点は改善し、移すべき事を祈りとして祈る必要はあります。どんな事も祈りで始まり祈りで終わる事ができたら、人間的方法ではない神の方法で状況を変化させ続けられるでしょう！！あなたにしか祈れない祈りがあります。祈りには大きな力がある事を信じて祈りましょう！